

# なすびの花



## CSR活動

年度替わりのこの時期に、あちこちの企業様が、見直しをされるためか、『CSR』という言葉を目にする機会が多いです。

『CSR』は、

「Corporate(企業) Social(社会の) Responsibility(責任)」

の頭文字をとった言葉で、「企業の社会的責任」を意味しています。

社会的責任には、環境問題、地域への貢献、人権への配慮など、様々な内容があります。

イーエル・オカモトでの『CSR』の取組みは、

- 健全な事業活動の推進
- 人権の尊重
- 地球環境の保全
- 適正な労働環境の維持・向上
- 信頼の確保と社会的責任の遂行
- 地域社会との共生
- 反社会的勢力との関係の遮断

などを掲げています。

中でも注力しているのは、温室効果ガスの削減、廃棄物の削減と再資源化や、環境に配慮した製品の提供など、地球環境の保全に貢献しています。

昨今、話題となっている人権については、ハラスメント防止規程により、相談窓口が設けられて、対応する体制が整っています。

また、新工場では、トイレに手すりが付いて一部バリアフリーの仕様となっていますね。

『CSR』が重要視されるようになったのは、2000年代以降で、その頃、企業不祥事が相次いで発覚したことで、企業の信頼が大きく損なわれたことがきっかけです。

その後、グローバル化が進み、発展途上国での児童労働といった問題が明らかになり、人権や労働環境への配慮が求められる社会となりました。

そして、企業活動による地球環境への影響も、注目されるようになっていきます。

どんな企業も、社会に影響を与えていて、企業が、社会や環境に配慮しながら事業活動を行うことは、企業の価値を高め、社会において信頼関係を築く、とても重要な活動です。

『CSR』活動は、「現在から未来までを見据えて、長期的視点でも社会のためになる活動」を指しています。

旧工場では、月に一度の土曜日の出勤日に、社員全員で、地域のゴミ拾いを行ったりしていましたが、これも『CSR』活動の一つです。

最近では、土曜日の出勤日が減ったこと、のどかだった旧工場と違い、周辺の交通量が多いため、大勢での活動に危機感があり、一部の社員が、空き時間を利用して、ゴミ拾いを実施しています。

今後の活動予定として、月に一度、社員の出勤直後からの9時までの間で、安全性を考慮した経路での社員全員参加でのゴミ拾いを検討しています。

## 仕事のミス

仕事において、ミスは重大な問題へと発展してしまうことがあります。

ミスは、誰もしたくする訳ではありませんし、ミスをしたことがない人はいないと思います。

そして、どういう訳か、続けざまにミスをしてしまう場合もあります。

ミスを繰り返してしまつと、社内外に迷惑が掛かってしまい、信用失墜という事につながります。

ミスを防ぐための対策として

- 作業中のわからない事はすぐに確認する
- 報連相をきちんと行う
- 工程の中に確認作業を組み入れる
- ミスは社内展開し、水平展開を図る

といった事が挙げられます。

もしも、ミスを起こしてしまった時には、すぐに現状を確認し、一刻も早く、謝罪を行うと共に、ミスの範囲や状況などを管理者に報告を行い、対策を行います。

そして、同じミスを起こす事がないように、再発防止のための対策を行って、ミスを防止していきます。

ミスを起こした後は、真摯に反省する必要がありますが、自分を責め過ぎることなく、自己成長できる良い機会であると、考えを切り替えて、乗り越えることが大切です。

この反省と対策とで、会社も人も成長していきます。